

## 妥当性確認結果等の概要

平成 22 年 8 月 17 日

妥当性確認実施機関：気候変動対策認証センター

### (1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	アサヒビール所有林アサヒの森（広島県）での間伐促進によるCO2吸収事業						
申請受理日	2010年6月9日						
プロジェクト代表事業者	アサヒビール(株)						
プロジェクト事業者	アサヒビール(株)						
プロジェクト参加者	(株)アミタ持続可能経済研究所						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	アサヒビール(株)						
プロジェクト概要	広島県庄原市及び三次市にあるアサヒビール(株)所有林アサヒの森（アサヒの森環境保全事務所が管理）での間伐促進による CO2 吸収を図り、森林からの資源の有効活用と公益的機能の役割を果たしていく。吸収量は CSR 活動（イベント他）で使用する。						
プロジェクト期間	2007年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日（6年0ヶ月）						
クレジット期間	2008年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日						
想定吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	690	992	1960	2508	3087	9237
ポジティブリスト	No. R 001 (Ver3.0)						
方法論	JRAM001 (Ver3.0) 森林活動によるCO2吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論						

### (2) 審査結果

審査内容	妥当性確認チームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット

	ト (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論の適用は実施規則及びポジティブリストに準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
排出量・吸収量算定 (I・II)	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量・吸収量算定は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。施業年と吸収算定年につき、J-VER 制度モニタリングガイドライン I-7 の考え方に沿った算式を採用しており、妥当と判断される。また、プロジェクト吸収量の算定にあたっては、モニタリングガイドラインに準拠しており妥当と判断される。
モニタリング計画 (III～VI)	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動、吸収量算定式、面積の測定、拡大係数、幹材積、容積密度、地上部に対する地下部の比率、地位級の選定、モニタリング体制・フロー、QA/QC について妥当であると判断される。それ以外の点については、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
その他 (D)	現地における実査を踏まえていないものの、申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセッ

	ト・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
認証運営委員会への推奨	オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当妥当性確認の範囲で、妥当性確認プロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たし、方法論に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、ルールへ準拠していることが確認され、当制度における重要性基準としての吸収量の10%以内という水準を確保していることを確認した。デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。

### （3）パブリックコメントの概要

期間中受け付けられたパブリックコメントはなかった。

### （4）認証運営委員会の結果

第17回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年8月17日）においてプロジェクト登録が承認された。